

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成28年 9月30日更新

事務事業名		都市公園施設修繕事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり			所属部	事業部	課長名	中島 眞由美
	施策	9	住環境の充実			所属課	都市計画課	担当者名	谷口 大介
	施策の柱	26	公園など身近な住環境の整備			所属班	都市計画班	(内線)	2234
予算科目		会計一般	款8	項4	目2	事業連番10137	根拠法令	都市計画法・都市公園法・都市公園条例・施行規則	成果優先度評価結果 : ⑧ コスト削減優先度評価結果 : ③
終了、開始年度		☐ 27年度で終了 ☐ 27年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	都市公園に設置する遊具、外灯、施設等の改修・修繕を主に行う事業である。公園に設置された施設については、年数の経過と共に老朽化や故障が発生してくるため、随時修繕をすることで適正な維持に努めている。また、年1回業者委託により全公園遊具等の定期点検を実施し、遊具の状態把握も併せて行なっている。設置から年数も経過し、施設の老朽化も進んでいるため修繕対象は増加傾向にある。また、いたずらによる破損等も多い。
【業務の流れ】	現地確認・積算・業者選定・決定・契約・打合せ・検査・支払い
【主な予算費目】	職員手当、旅費、需用費、委託料、工事請負費、原材料費、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	公園数も多く修繕対応が必要な施設も増加傾向である。予算の都合もありすぐに対応できない場合は使用禁止措置等が長引き市民に迷惑をかけることがあり、早期の修繕が望まれている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動) (DO)		28年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
各公園の遊具修繕、施設(水道・トイレ・照明灯等)修繕		各公園の遊具修繕、施設(水道・トイレ・照明灯・外柵等)修繕
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア 修繕公園数	箇所	公園内樹木肥大化に伴う樹木管理委託費の増
イ		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等利用者	(単位)	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
	箇所	→ ア 全公園数
		→ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
適正に管理できる安全快適に利用できる	件	→ ア 苦情・要望数
		→ イ
* ③ 成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
苦情要望の件数は管理状況を示すバロメータとしても有意義であると考えたため		全体計画
		～ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費 の推移				単位	25年度 実績(決算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	29年度 予定	30年度 見込	31年度 見込
① 活動指標		ア イ	箇所		39 -----	40 -----	40 -----	32 -----	40 -----	40 -----	40 -----	40 -----
② 対象指標		ア イ	箇所		170 -----	174 -----	178 -----	179 -----	182 -----	186 -----	190 -----	194 -----
③ 成果指標		ア イ	件		39 -----	44 -----	40 -----	42 -----	40 -----	40 -----	40 -----	40 -----
投 入 費 量	業 務 費	財 源 内 訳	国庫支出金	千円								
			都道府県支出金	千円								
			地方債	千円								
			その他	千円								
			繰入金	千円								
	(A) 事業費計	一般財源	千円	5,815	10,785	10,853	11,497	11,833	11,000	11,000	11,000	
		(A) 事業費計	千円	5,815	10,785	10,853	11,497	11,833	11,000	11,000	11,000	
		(A)のうち指定経費	千円	25	32	43	23	23	87	87	87	
		(A)のうち時間外、特勤	千円	18	25	30	16	10	75	75	75	
	人 件 費	正 規 職 員 従 事 人 数	人	4	4	4	4	4	4	4	4	
延べ業務時間			時間	815	890	750	890	750	750	750	750	
(B) 人件費計		千円	3,246	3,545	2,988	3,304	2,988	2,988	2,988	2,988		
トータルコスト(A)+(B)				千円	9,061	14,330	13,841	14,801	14,821	13,988	13,988	

事務事業名	都市公園施設修繕事業	所属部	事業部	所属課	都市計画課
-------	------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】
	②28年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 適正に管理されているため
有効性評価	③成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 限られた予算・人員でおこなっており、向上余地はない
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 公園数は増加しており、施設の老朽化も顕著であるため、事業費は増加傾向にある
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限の人件費である
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 公園は誰でも利用が可能である
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 市が管理する施設であり日常的な点検は地域住民で行うなどの分担を行っているが修理については専門的な分野でもあり費用負担の面からも適正である

3 評価結果の総括（CHECK）

平成21年度に経済対策事業と本事業により遊具の点検修繕をかなり行うことができ施設改善が進んだ。この後も継続して行っていくことが必要となる。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☒現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																								